

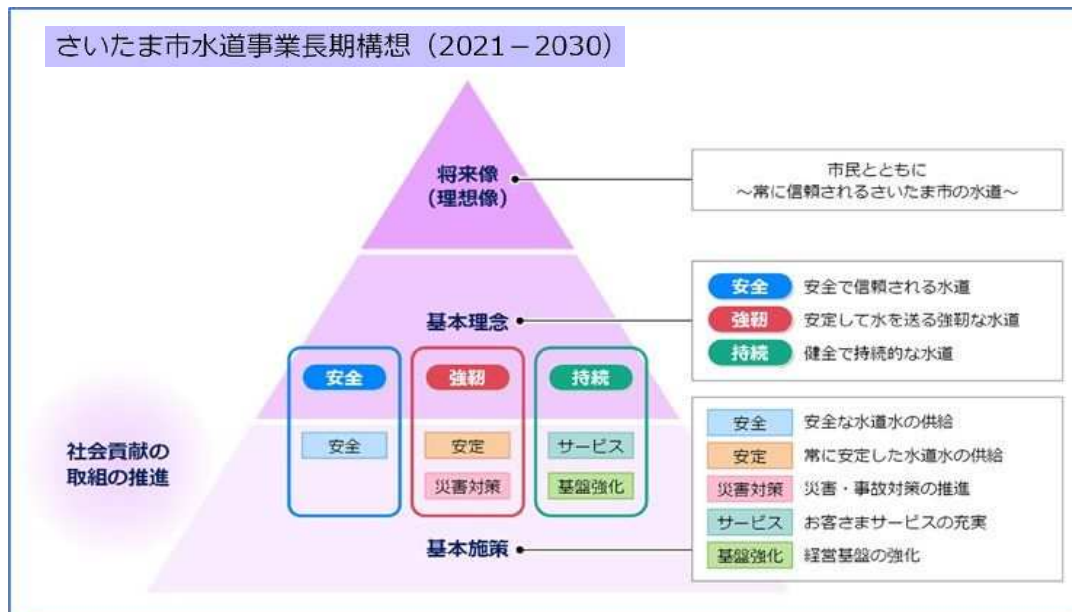
水道局 令和7年度 局運営方針（案）

1 主な現状と課題

現在、本市の人口は増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、あわせて給水人口や給水収益も減少していくと推測されます。

一方で、浄水場、配水場や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、令和6年能登半島地震では、断水期間が長期化するなど、改めて水道施設の強靱化の重要性が確認されたことから、本市においても安定した給水を確保するため、耐震化対策を着実に推進する必要があります。加えて、近年の物価高騰により工事費用の上昇が顕著となる中、これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

水道局では、このような環境の変化や重要な課題に対応するため、「さいたま市水道事業長期構想（2021－2030）」（以下、「長期構想」という。）及び「さいたま市水道事業中期経営計画（2021－2025）」の下、財政とバランスの取れた施設整備やデジタル化の推進などを通じ、効率的かつ効果的に事業を運営していく必要があります。



（1）水道施設の再構築の推進

安全・安心な水道水を安定して供給していくため、将来の水需要の減少を踏まえた、水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模への計画的な改良・更新を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靱な水道施設の再構築を推進する必要があります。



老朽管更新工事

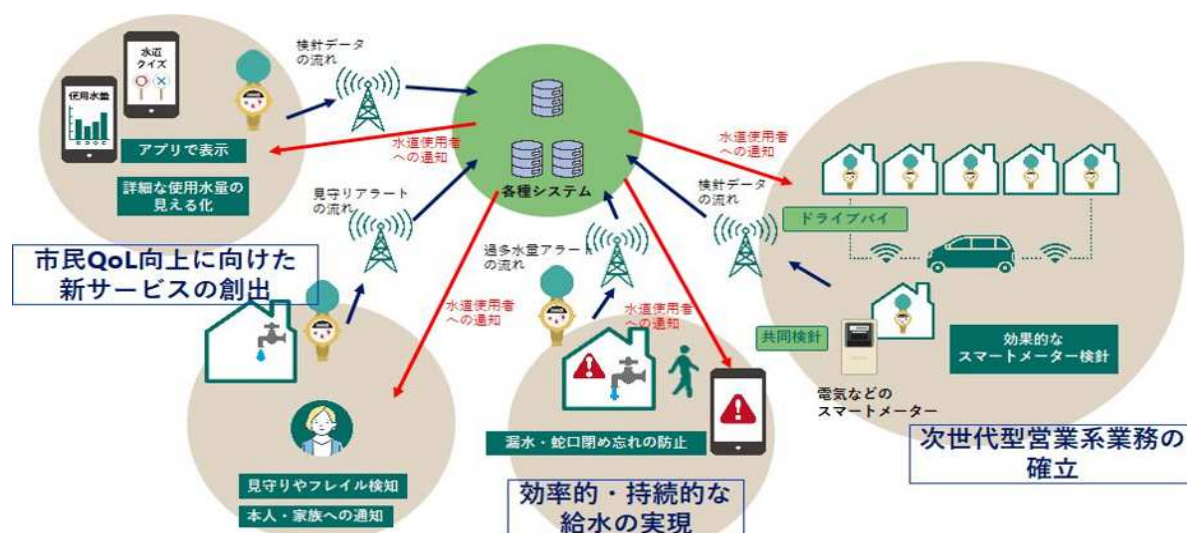


北部配水場更新工事

（２）デジタル化の推進

市民サービス向上、事務の効率化への効果を検証するため、美園地区で令和5年度から実施しているスマートメーターの実証実験において、電力等関連会社との共同検針やドライブバイ検針を実施するとともに、水道局窓口における使用料・手数料等に係るキャッシュレス決済端末の導入を実施するなど、デジタル化の推進に取り組む必要があります。

【スマートメーター実証実験の全体イメージ】



（３）社会貢献の取組の推進

長期構想に掲げる将来像「市民とともに～常に信頼されるさいたま市の水道～」の達成に向け、社会への責任ある行動が求められています。

水道局では、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の関係機関と連携し、30年以上にわたりラオス国の水道分野への国際協力を続けており、SDGsの観点からも、すべての人々の水と衛生の利用可能性を確保する取組を推進する必要があります。また、使用期限を迎えた水道メーターの分解を社会福祉就労支援施設へ委託するなど、再資源化に向けた取組を推進し、障害者の就労機会を提供していく必要があります。



ラオス国との水道分野の強化に向けた協力に関する覚書締結（令和5年11月）



水道メーターの分解作業

2 基本方針・区分別主要事業

水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めることにより、信頼性の高い強靱な水道施設の再構築を推進します。

また、スマートメーターの実証実験や、水道局窓口における使用料・手数料等に係るキャッシュレス決済端末の導入の実施を通じて、デジタル化を推進します。

ラオス国への国際協力を継続することや、使用期限を迎えた水道メーターの分解を社会福祉就労支援施設へ委託することにより、社会貢献の取組を積極的に行います。

(1) 水道施設の再構築の推進

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
1	総振	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	13,838,221	14,918,005	水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めます。	Ⅱ-584

(2) デジタル化の推進

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
2	拡大	水道スマートメーター実証 実験の推進 〔営業課〕	15,391	16,287	市民サービス向上、事務の効率化への効果を検証するため、水道スマートメーターの実証実験において、新たに電力等関連会社との共同検針を実施します。	Ⅱ-583 Ⅱ-584
3	新規	水道局システム管理事業 〔経営企画課〕	1,499	0	水道局窓口における使用料・手数料等に係るキャッシュレス決済端末の導入を実施します。	Ⅱ-583

(3) 社会貢献の取組の推進

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
4	総振	国際協力推進事業 〔経営企画課〕	31,105	5,149	水道局で培った経験や技術力を海外で生かすため、ラオス国への国際協力を推進します。	Ⅱ-583
5		社会福祉就労支援事業 〔給水装置課〕	13,458	12,369	使用期限を迎えた水道メーターの分解を社会福祉就労支援施設へ委託します。	Ⅱ-583

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

3 脱炭素化に資する主な取組一覧

(単位：kg-CO2)

課名等	事業名	取組の内容	CO2削減量
経営企画課	会議等のペーパーレス化	水道局内の会議をペーパーレスで実施することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	188.5
管財課	節電の実施	水道庁舎において、節電を実施することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	8,471.9
管財課 営業課 水質管理課	桜環境センターのグリーン電力活用	水道総合センターや水道庁舎等において、桜環境センターで発電されたグリーン電力を活用することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	481,101.3
配水管理事務所	白幡配水場の室内照明のLED化	照明をLED化することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	9,981.6

会計名 水道事業会計		予算額	50,463,599
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課		
予算書	水道事業会計予算書		
<事業の目的・内容> 市民生活を支えるため、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、地震等の災害や渇水にも強い、たくましい水道をつくっていきます。 また、健全経営の下、効率的な施設運営や利用者の視点に立った質の高いサービスを提供します。			
		前年度予算額	51,299,993
		増減	△ 836,394
<主な事業>			
【収入】		【支出】	
[1款：水道事業収益]		[1款：水道事業費用]	
33,460,116		29,946,669	
1 営業収益	32,057,317	1 営業費用	29,221,727
(1) 給水収益	29,259,116	(1) 水源費	9,029,484
水道料金収入です。		受水費	8,224,847
[参考] 給水収益の推移		埼玉県からの受水に係る費用です。	
令和 2年度決算額	29,647,184,944円	(2) 配給水費	11,545,071
令和 3年度決算額	29,815,173,875円	社会福祉就労支援事業	13,458
令和 4年度決算額	29,477,519,224円	使用期限を迎えた水道メーターを再利用可能な部分と廃棄する部分とに分解する作業を社会福祉就労支援施設に委託する事業です。	
令和 5年度決算額	29,180,395,366円	(3) 業務費	2,576,255
令和 6年度当初予算額	29,061,688,000円	水道スマートメーター実証実験の推進	14,634
(2) その他営業収益	2,702,749	市民サービス向上、事務の効率化への効果を検証するため、水道スマートメーターの実証実験において、新たに電力等関連会社との共同検針を実施します。	
ア 配給水管維持管理等負担金	423,179	(4) 総係費	2,003,679
下水道などの他事業が地下埋設物を設置する際、支障となる水道管を移設させる場合等に受けるものです。		ア 国際協力推進事業	31,105
イ 下水道使用料同時徴収事務負担金	1,065,200	水道局で培った経験や技術力を海外で生かすため、ラオス国への国際協力を行う事業です。	
市民サービス向上のため実施している上下水道料金一括徴収の経費のうち、下水道使用料部分の負担金です。		[総振：01-3-1-04]	
ウ 分担金	1,087,640	イ 水道局システム管理事業	1,499
新たに水道メーターを設置するなどした利用者が、口径に応じて負担するものです。		水道局窓口における使用料・手数料等に係るキャッシュレス決済端末の導入を実施する事業です。	
2 営業外収益	1,390,267	2 営業外費用	703,449
(1) 長期前受金戻入	1,208,513	(1) 企業債利息	699,958
償却資産の取得及び改良時に交付された補助金等の減価償却等に伴う収益化額を計上します。		企業債の利息の支払いに係る費用です。	
3 特別利益	12,532		
過年度分水道料金等の修正益を計上します。			

※ 職員人件費については、P. II-585に掲載しています。

【 収 入 】		【 支 出 】	
[1款：資本的収入]		[1款：資本的支出]	
	9,101,689		20,516,930
1 企業債	8,844,000	1 建設改良費	16,702,260
水道施設の整備事業に係る企業債です。		(1) 施設整備費	15,101,960
		水道施設整備事業	13,838,221
		[総振：09-2-4-01]	
2 負担金及び寄附金	238,182	＜地下水源の整備＞	235,046
開発事業者等の依頼に基づく水道管の布設に係る負担金等です。		地下水源の保全と有効活用を図るため、深井戸の更新や新規整備を行う事業です。	
3 補助金	18,863	＜拠点施設の整備＞	1,047,403
防災・安全交付金による国からの補助金です。		安定給水の確保のため、老朽化した配水ポンプ等を更新する事業です。	
		＜配水管の整備＞	1,188,404
		漏水が多発する給水管の解消や、バックアップ機能の強化を図るため、配水管の整備を行う事業です。	
		＜老朽管の更新＞	10,946,500
		漏水の防止に努めるとともに、耐震化を図るため、老朽管の計画的な更新を行う事業です。	
		＜耐震化の推進＞	420,868
		大規模災害による被害を最小限に抑えるため、耐震性を有していない水道施設の耐震化を進める事業です。	
		(2) 設備改良費	1,600,300
		水道スマートメーター実証実験の推進	757
		水道スマートメーターの実証実験を行うため、システム改修を行う事業です。	
		2 償還金	3,814,670
		企業債の元金償還金に係る経費です。	
		[総振：52-2-2-01]	